

令和4年10月13日
令和4年度北海道・東北ブロックPPP/PFI推進首長会議

道の駅おとふけ移転整備事業について



音更町長 小野 信次

音更町の概要

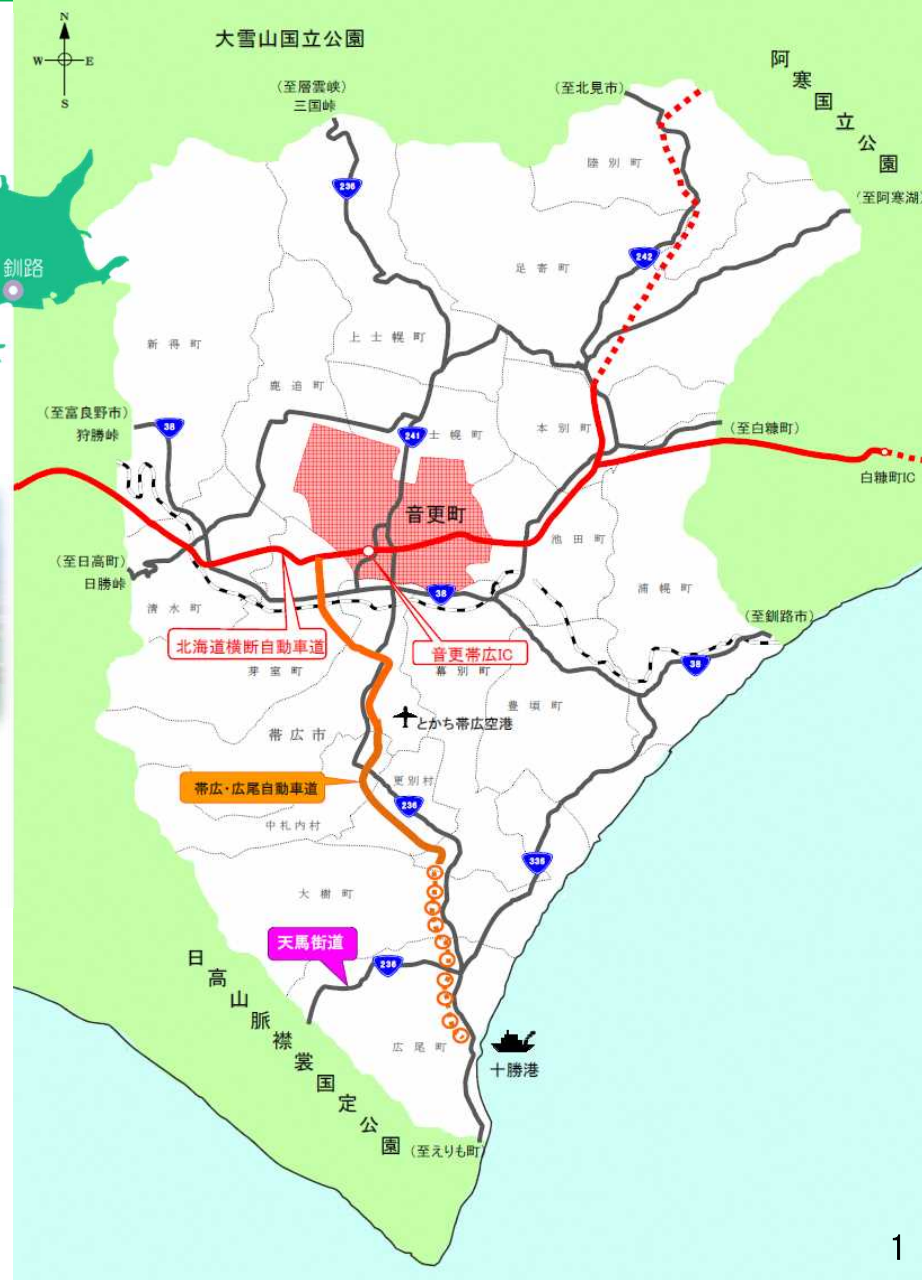
面積: 466.02km²

人口: 43,199人

音更町は、北海道東部の十勝平野のほぼ中央に位置し、おおむね平坦で十勝川をはじめ90を超える河川が流れています。

農地面積は、町の面積を半分を占める約2万3千ha。広大で肥沃な十勝平野の中央に位置し、主要作物は、小麦、豆類、馬鈴薯、ビート、そ菜などで、酪農も盛んです。

雄大な十勝平野の中央を流れる十勝川のほとりに町が誇る観光資源である「十勝川温泉」があります。この温泉は世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」で平成16年、北海道遺産に指定されました。



道の駅「おとふけ」 移転の経緯等

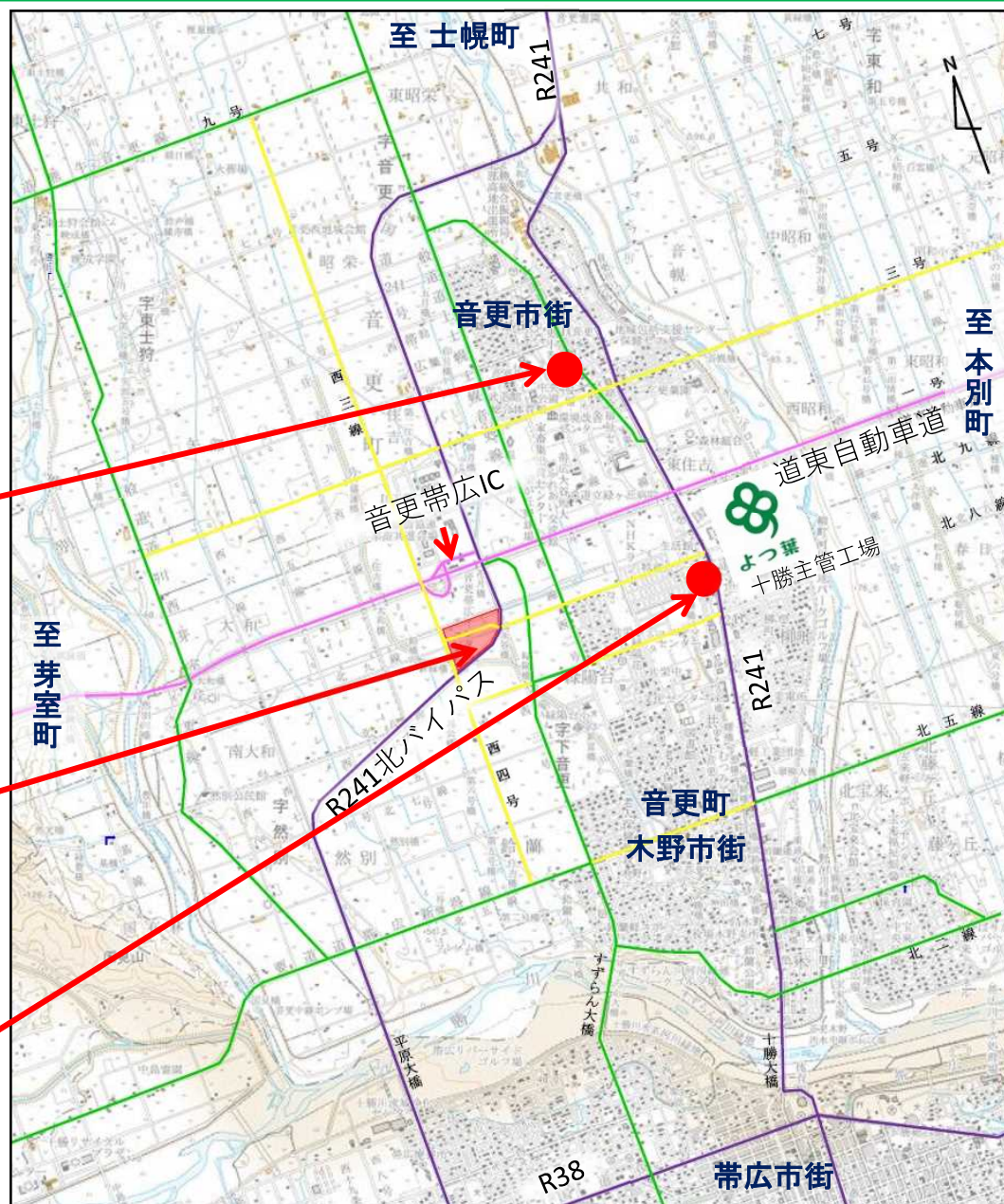
音更町役場庁舎



新 道の駅おとふけ



旧 道の駅おとふけ



背景

- ➡ 音更町は国内を代表する農畜産物の産地でありながら...
- ・地場産品は町外の消費がメイン
- ・観光資源として機能していない

現状の課題

- ➡ 旧道の駅は...
- ・施設の狭あい化や老朽化が進み情報発信が十分にできていない
- ・メインの観光ルートから外れている

事業の目的

- ➡ 課題解決に向けて...
- 高速道路のICに近接した観光客の主な移動ルートに「**新たな道の駅**」を移転整備

これまでの取組

- ➡ R1 実施・運営事業者の決定「ヴェスタおとふけグループ」(DBO方式)
7社で構成(設計1社・建設3社・運営2社・維持管理1社)
- ➡ R2～3 建設工事
R3年12月完成引渡し後、指定管理開始(開業準備業務)
- ➡ R4 移転開業(4月15日)

★事業費
1,572百万円
(用地取得・造成・建設等)

音更町の主な農畜産物



道の駅おとふけ整備手法等について

◆ DBO方式採用の経緯

補助金や地方財政措置のある起債の活用（地方創生拠点整備交付金、一般補助施設整備事業債）

長期間（10年）にわたる管理運営を見通した施設設計・建設が図られる。

事業者による効果的な管理運営（道の駅：公共施設でありながら、商業的施設の要素も強い。）を期待できる。

◆ 整備等スケジュール

時 期	内 容
平成30（2018）年12月	●第1回道の駅おとふけ整備事業者審査委員会の開催 審査基準、実施事業者の選定の諮問等 ●公募型プロポーザルの募集開始
令和元（2019）年5月	●第2回道の駅おとふけ整備事業者審査委員会 プレゼンテーション等の実施、審査結果を答申 ●実施事業者を選定
6月	●補正予算の議決（債務負担行為、基本計画、基本設計及び実施設計業務委託に係る補正予算）
7月	●基本協定の締結 ●基本計画、基本設計及び実施設計業務委託契約の締結
9月	●補正予算の議決（造成工事に係る補正予算） ●造成工事契約の締結

道の駅おとふけ整備手法等について

◆ 整備等スケジュール(続き)

時 期	内 容
令和 2 (2020) 年6月	●建設工事・工事監理委託業務に係る契約締結 (R2当初予算措置 R2-3継続費)
令和 3 (2021) 年12月	●建設工事完了 引渡し ●補正予算の議決(債務負担行為) ●指定管理者の指定の議決 ●指定管理協定の締結 ●道の駅おとふけ条例の制定
令和 4 (2022) 年4月	●内覧会、プレオープンの実施 ●グランドオープン (4/15)



道の駅おとふけの概要

『食と体験を基に人々が賑わい交流を行う拠点施設』

◆道東エリア・十勝の玄関口として、農畜産品、特産品をはじめ文化、風景など十勝・音更の魅力を発信する施設として整備。
また、各種イベントの開催で町全体を活性化。



面積：80,378㎡（国整備エリア、公園含む）

施設：木造一部鉄骨造平屋建て 延床面積 1,960.64㎡

駐車場284台（国整備含む。なお、隣接する公園、民間施設を含めると約1,000台）、電気自動車急速充電器2台、トイレ43器、農畜産物等販売所、飲食店7店、カフェ、ベーカリー、無料休憩コーナー、団体休憩室、キッズコーナー、情報発信コーナー、なつぞらエリア、駐輪スペース、防災倉庫、都市間バス乗降所（隣接する公園側に整備）など

充実の飲食コーナー

◆「食の聖地」をコンセプトに、十勝の食を集結。地元の豊かな農畜産物を用いたメニューの提供

- 飲食店7店～和食、洋食、豚丼、ラーメン、そば、うどん、テイクアウト専門（飲み物、揚げ物、ソフトク
- カフェ（和のスイーツ、飲み物など）
- ベーカリー（地元の小麦を用いたパンなど）



農畜産物等販売所

◆地元の豊かな農畜産物を用いた加工品や特産品を販売。
また、生産者直売コーナーを併設し、新鮮な野菜などを販売。



道の駅「おとふけ」配置図・平面図



『なつぞら』エリア



交通結節点
(パーク
アンドライド)



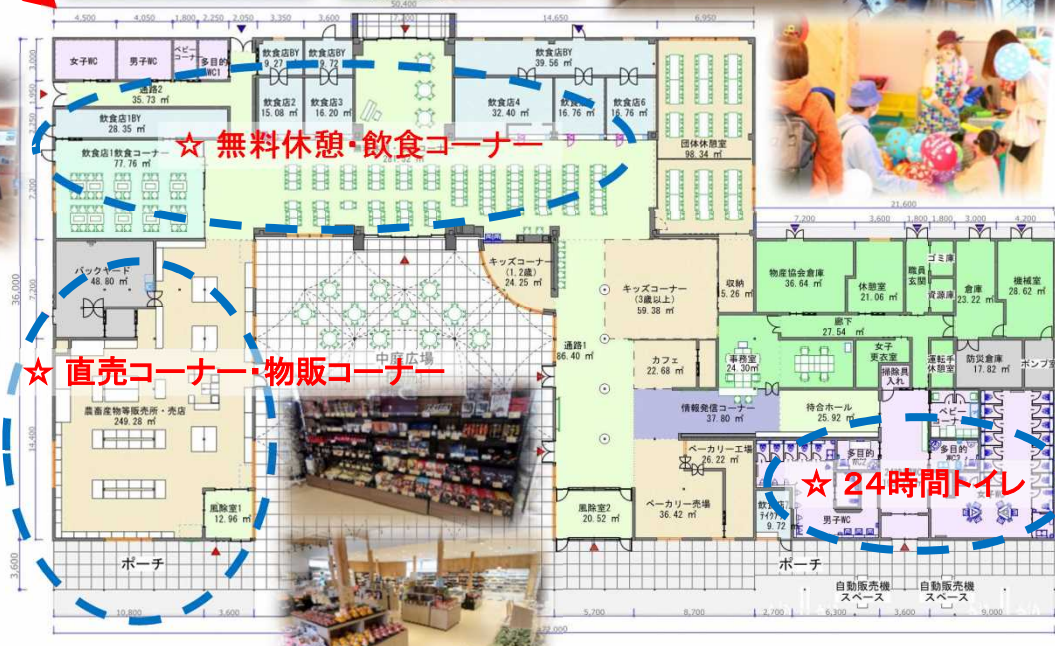
■「防災拠点」、「避難所」としての活用を見据えて



■ 各種イベントの開催
(収穫祭、サイクルイベントなど)



■ カルチャー教室・演奏会の開催



道の駅おとふけ運営状況

◆ 移転開業後の来場者数の状況

令和4年8月6日 年間来場者数目標 70万人を達成

令和4年9月29日 来場者数目標 100万人を達成

◆ 周辺施設への波及効果

道の駅名	対前年同月比
ガーデンスパ+勝川温泉（音更町）	38.9%増
ピア21しほろ（士幌町）	24.4%増
かみしほろ（上士幌町）	50.9%増
しかおい（鹿追町）	17.3%増

※ 令和2年と令和3年の5月の来場者数を比較



ご清聴 ありがとうございました

◆ 道の駅おとふけ整備事業に関するお問い合わせ

音更町経済部産業連携課

☎ 0155-42-2111(代表)

✉ sangyourenkeika@town.otofuke.lg.jp

※行政機関以外の方は「lg」を「hokkaido」に置き換えてください。

